

# わけもん ぎばっちょっど

## 未来に届け 第19回

**問** 今回は どのスゲ～人を見つけてきたと…。  
こんども期待しちよるからねー!!  
わくわくするっちゃが～ 早う教えない。

**答** 宮崎は民謡が盛んじゃがね。  
今回はその民謡のスゲー人なつよ！ 地元の民謡  
大会から全国大会まで挑戦しちよりゃって、  
優秀な成績を残しちよるごつあるよ。まゝ読んで  
みてくんない…。

## 宮崎に息づく民謡を歌い継ぐ地元高鍋の星

### 清水雅子さんをご紹介します。

6月11, 12日に、木挽き唄全国大会が日向市文化交流センターで開催されました。

日向木挽唄は宮崎県の民謡で、山で切り倒された木を「大鋸（おが）」と呼ばれるのこぎりで切り、木材に加工していた「木挽」が歌っていた仕事歌です。「ヤーレー 山で子が泣く 山師の子じゃろ ほかに泣く子が あるじゃなし」の歌詞でおなじみです。

コロナ禍により、3年ぶりの開催で、県内外の3歳～94歳までの約290人が参加。野良着やかすり着でステージに立ち、尺八や三味線の演奏に合わせ自慢ののどを披露しました。

清水さんは10歳の時に、お父さんと民謡を始められ、今回は、一般女性部・青壮年の部で3位に入賞されました。



#### 【最近の主な成績】

- ・2018年 南九州代表で全国大会5位
- ・2022年 民謡民舞コンクール優勝

#### 【清水さんコメント】

今までは、コロナ禍でなければ月1回の練習。厳しく楽しい練習ですが、今では、民謡仲間が増えとても楽しいです。

これからの抱負は、宮崎県椎葉で、9月ごろ開催される予定の日向木挽唄大会で優勝をしたい。

また、三味線も弾きますので、将来の夢は、このような、おなかから声を発し声を震わせ唄う、日向木挽唄の伝統を若い人に伝えていきたいです。

## 編集後記

最近では頻繁に地震があらちちらで起きています。大きな地震が無いことを祈るばかりです。

台風の季節も今年は早まっております。7月5日の時点で、宮崎に台風が襲来しました。

これからの季節は、台風はもちろんのこと、激甚災害に注意を払わねばなりません。自然災害が報じられると、人間の無力を痛感させられます。

自然災害は、それ自体をなくすことはできません。普段からの備えと被害が出た場合の迅速な対応が不可欠です。

2年前の九州豪雨での慰霊祭が執り行われたというニュースがありました。防災情報を皆で勉強し合い、共有し合って「安心・安全な高鍋のまち」をつくりていくため、一層尽力していく決意です。

しばらくは厳しい暑さが続くと思います。くれぐれもご自愛ください。

(八代輝幸・記)

(表紙写真)

2千人ほどの町民が参加した  
高鍋クリーン活動